

北中生は なぜアルミ缶を集めるのか？



第66期生徒会でも引き続き行われている「アルミ缶回収」事業。2月22日、本年度最後の回収日となった。日本放送協会のテレビ番組で、5歳の女の子に、ぼーっと生きているなよと大人達が叱られる番組がある。ではこの間、「なんで北中生は、アルミ缶を集めるのか？」みなさんは答えられますか？協力率100%を目指そうとか、期間中の協力の度合いがクラス単位で放送されたりしていますが、そもそも何でアルミ缶を集めているのでしょうか。スチール缶ではなく、アルミ缶。ペットボトルではなく、アルミ缶。なんでなのでしょう。そして集められたアルミ缶がどのような意味や価値を持っているのでしょうか。北中生なら誰もが答えられると思います。80字以内で簡潔に説明をお願いします。



カリヨン・ルームで意見交換

2月立春、「丸子北中コミュニティスクール運営委員会」を開催いたしました。今年度の北中学校の歩みを振り返り、更にはどうあるべきか、どうあってほしいかの意見交流が行われました。学校職員、地域自治に携わる方々の代表と、生徒会役員代表がフリートークを行う中で、あらためて「挨拶」の重要性が確認されました。地域に誇れる北中生、小学生にとって憧れの先輩たる中学生として、また地域の伝統行事等への参加も含め、この地に生きる者として、地域社会に貢献できるよう、よりよき社会人を目指して一層勉学に励む必要性を自覚した時間となりました。日頃より、本校の生徒を近くから遠くから、見守っていただいたことに、あらためて感謝申し上げます。

- 路面凍結、転倒に注意の時節から陽気が良くなって活動的になり、飛び出し注意といった季節へ。自転車も軽車両です。「ぼーっと」運転していると大事故につながります。あらためて交通安全。
- 卒業式まで登校日数は12日。インフルエンザについては油断することなく、学校においては引き続き感染防止について努力を継続するとともに、ご家庭でも、健康管理をお願いいたします。